

平成30年度 糖尿病教室のご案内

我が国における糖尿病の患者数は今後もますます増加すると考えられています。糖尿病の3大合併症である網膜症、腎症、神経症を予防することは糖尿病患者さんの生活の質を高め健康寿命を延伸するためには大変重要なことです。糖尿病の患者数の増加に伴って糖尿病網膜症の患者数も増え続けています。

前半は、糖尿病の合併症の予防について、後半は、特に網膜症について、お話します。

糖尿病網膜症は50歳代から60歳代の中途失明原因の第1位で、約3,000人が毎年失明しています。また、失明に至らなくても視覚障害で多くの方が日常生活に支障をきたしています。そうならないために、糖尿病網膜症は早期に発見されなければなりません。内科で糖尿病と診断されたら、目の自覚症状がなくても眼科を受診して、その後も定期的に眼底検査を受けてください。網膜症が見つかって、適切に治療していれば一生を通じて視力を保つことができます。

糖尿病網膜症の発症メカニズムや病状の進行過程と治療の解説により、糖尿病網膜症による失明を防ぐには、内科の治療と共に眼科の定期検査が重要だと気付いて頂く一助になれば幸いです。奮ってご参加ください。

記

日時 平成31年2月13日(水) 午後2時～

会場 東淀川区医師会館 3階講堂 (東淀川区豊新2-3-7)

演題 糖尿病の合併症を予防しよう!

— 失明しないために大切なこと —

① 『糖尿病合併症について』

東淀川区医師会 理事

井上内科 院長

原 宏子 先生

② 『糖尿病性網膜症の進展予防のために』

東淀川区医師会 理事

たはら眼科 院長

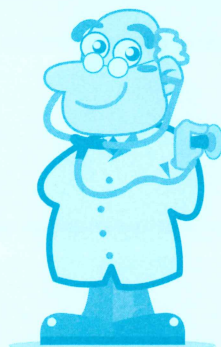
田原 恭治 先生

対象者 東淀川区民 (先着40名)

参加ご希望の方は 事前に
東淀川区医師会まで
お電話にてお申込下さい。

☎ 06-6320-2226

入場は
無料です



主催：東淀川区医師会